

倉庫ニ配付シタル殺鼠劑數 一三三、一一〇個
 準岸ニ配付シタル殺鼠劑數 五、一〇〇個
 捕鼠器ノ延數 七四、二三一個
 捕鼠數 二、二六〇頭
 ハ、蚤ノ驅除及塵芥ノ處理

綿類其他貨物ニ附着セル蚤ノ散蔓ヲ防遏及繁殖ナカラシメン爲メ塵芥ハ可成燒却爐ヲ設置スル様勸說シ止ムヲ得サルモノニ對シテハ危險ナキ一定ノ場所ニ集メ直チニ燒却セシメ時々倉庫内ニ「モルモット」ヲ配置シテ検査セリ

二、横濱市内殺鼠劑配付ニ關スル件

ベスト豫防ノ爲メ九月五日ヨリ十五日間横濱市内各戸ニ殺鼠劑十個宛配付ヲナセリ

一、亞砒酸製殺鼠劑處方

亞砒酸 一八〇瓦
 蕎麥粉 三〇〇瓦
 煮干粉 一五〇瓦
 小麥粉 四七〇瓦
 蕃椒末 一〇瓦

右ヲ水ニテ練合シ軟塊トシ二〇〇〇〇個ニ細切シ團子トス一個中亞砒酸含量〇、〇九

横濱市内殺鼠劑配付成績

配布日數	配布人夫延人員	殺鼠劑配布個數
一五〇	六一五	一、三二一、〇〇〇

三、井水豫防消毒ニ關スル件

特別大觀艦式舉行前五日間横濱川崎兩市内ノ飲用雜用井水ニ就キ左記ノ方法ニ依リ豫防消毒ヲ勵行スルコトトシ當廳係員ノ外神奈川縣藥劑師會ヨリ二百餘名ノ應援ヲ得テ川崎市ハ十一月二十一日ヨリ横濱市内ノ内鶴見區ハ十一月二十二日ヨリ鶴見ヲ除ク横濱市内ハ全部一齊ニ十一月二十八日ヨリ各五日間衛生組合ヲ督勵シテ井水ノ豫防消毒ニ從事セリ

井水豫防消毒法

井戸水ノ豫防消毒トシテハ井戸水一石ニ對シ二十倍クロール石灰水ヲ一回一勾ノ割合投入シ能ク攪拌シ消毒スルコトトセリ但シ豫防消毒ハ一日一、二回行フ

横濱川崎 井水豫防消毒施行成績

川崎	横濱	計	衛生組合數	井水消毒施行數
二四七	二二二	二六九	一四、九六四	三、〇九六
				一八、〇六〇

四、横濱港内及河川ノ消毒的清掃ノ件

十一月二十七日ヨリ十二月三日迄消毒船二艘ヲ以テ二班ヲ編成シ(各班ニハ監督一、水夫一人夫二乗組)横濱港内海面ニ浮遊セル塵芥ヲ採收シ之ニクロール石灰ノ撒布消毒ヲナシ採收セル塵芥ハ一定ノ場所ニ運搬シ干燥ノ後燒却シ以テ港内海面ノ清掃ニ努メ同時ニ市内河川ノ清掃ヲナセリ

五、救護材料ニ關スル件

救護用携帶靴第一種第二種第三種ハ時々其ノ内容器ヲ調査シ不足品ハ之ヲ補填シ臨機救護班ノ出勤ニ支障ナカラシメ且ツ衛生材料ノ補給ヲ圓滑ナラシムル事ニ努メタリ右從事職員ハ片島技師外十二名ナリ

牛肉營業所、食肉店舗化製場取締ニ關スル件

本件ノ取締ハ九月一日ヨリ十二月四日大禮觀艦式當日迄横濱市横須賀市及三浦郡鎌倉郡ノ内鎌倉町腰越津村川口村ニ検査班五班ヲ出動セシメ施行シタリ其ノ成績左ノ如シ

一、牛乳搾取所臨檢

牛乳搾取所臨檢件數

百五十四件

乳牛健康診斷頭數

二千八百七十五頭

疾病ニ罹リ注意ヲ與ヘタルモノ

二十四頭

牛舎設置不良及衛生上不行届ノ爲メ注意ヲ與ヘ所轄警察署へ申告シタルモノ

七件

二、牛乳請賣營業所臨檢

請賣營業所臨檢件數

二百十五件

設備不良及衛生上不行届ノモノニシテ注意ヲ與ヘ所轄警察署へ申告シタルモノ

四件

三、食肉(獸肉)店舗臨檢

店舗臨檢件數

三百十二件

四、食肉(魚肉)店舗臨檢

店舗臨檢件數

五百九十一件

設備不良及衛生上不行届ノ爲メ注意ヲ與ヘ所轄警察署へ申告シタルモノ

七十七件

五、化製場臨檢

臨檢件數

三十九件

設備不良及衛生上不行届ニシテ注意ヲ與ヘ所轄警察署へ申告シタルモノ

三件

六、各通牒事項

(イ) 九月十四日付衛生課長ヨリ牛乳商同業組合長、横濱搾乳畜産組合長、横濱牛乳販賣業組合長ニ對シ牛乳改善ニ關スル注意ヲ通牒ス

(ロ) 十月一日付ヲ以テ衛生課長ヨリ牛乳營業者ニ對シ牛乳及牛乳ニ關スル注意書ヲ發送ス

(ハ) 十一月五日付衛生課長ヨリ市内各警察署長横須賀、浦賀、三崎、葉山、鎌倉警察署長ニ對シ牛乳搾取營業所牛乳請賣營業所各食肉營業所化製場ニ對スル清潔検査日割ヲ通牒ス

(ニ) 十一月六日付衛生課長ヨリ横濱搾乳畜産組合長、横濱牛乳販賣業組合長、神奈川縣牛乳商同業組合鎌倉支部長、同三浦郡支部長ニ對シ御大禮ニ關シ特ニ清潔法及衛生上遺憾ナキ様各組合員ニ實行セシムル様通牒ス

(ホ) 十一月六日付衛生課長ヨリ横濱鮮魚商組合長、保土ヶ谷鮮魚商組合長、西戸部同組合長、神奈川同組合長ニ對シ店舗清潔法施行ニ關スル注意ヲ通牒ス右從事職員ハ三浦技師外五名ナリ

第四部

一、ベスト豫防ニ關スル件

(イ) 倉庫業者ニ對シ毎月二回殺鼠劑ヲ製シ警察部ヨリ直接之ヲ交付ス

鼠族検査數別表第一號ノ如シ

(ロ) 横濱市内各區役所ニ於テ既ニ行ヒツ、アル屍體檢案ハ一層嚴重施行ス

五月以降十一月末日迄ノ成績別表第二號ノ如シ

(ハ) 九月一日ヨリ十月中旬迄横濱全市十一萬七千八百五十戸ニ對シ除鼠の清潔方ヲ施行セリ

二、「コレラ」豫防ニ關スル件

(イ) 豫防注射八月二十日ヨリ十二月二日迄防疫醫一名防疫監吏二名看護婦二名ヨリ成ル注射班ヲ組織シ横濱市在住水上關係者ニ對シ「コレラ」豫防注射ヲ施行シタリ

其成績別表第三號ノ如シ

(ロ) 船般健康視察

横濱港内及市内各河川碇泊船、達磨船、其他船舶乗組員ニ對シ九月二十九日ヨリ十二月二日迄六十五日間ニ亘リ防疫監吏一名警察官一名ヨリ成ル視察班ヲ組織シ健康視察ヲ行フ

其ノ成績別表第四號ノ如シ

(ハ) 船舶檢疫

大阪市ニ「コレラ」發生シタルヲ以テ之カ豫防ノ方策トシテ十月一日以降大阪港ヲ發シ又ハ寄港シテ來航シタル船舶ニ對シ(稅關ニテ行ハサルモノ)船舶檢疫ヲ行フ

其ノ成績別表第五號ノ如シ

(ニ) 「コレラ」ワクチン製造數量 五〇、三六〇cc 同交付數量 二四、三八〇cc (參考表添付)

(ホ) 九月二十七日横濱入港英國船中ニ「コレラ」患者發生ニ付豫防ポスター一萬枚ヲ製シ全國各府縣及横濱市内各警察署並沿岸各警察署ニ配布シタリ

ポスター及配布數量別表第六號ノ如シ

三、腸チフス、バラチフス、赤痢豫防ニ關スル件

(イ) 保菌調査

前年患者及其ノ家族并横濱市内及密接ナル關係ヲ有スル地方ノ旅館、料理店、飲食物ノ營業者及直接從業者并學校工場

等ノ寄宿舍賄人ニ對シ腸チフス、バラチフス、赤痢等ノ保菌調査ヲ施行ス

其ノ成績別表第七號ノ如シ

(ロ) 檢病的戸口調査

前年流行セシ部落并木賃宿等其ノ他必要ナル場所ニ對シ檢病的戸口調査ヲ施行セリ

其ノ成績別表第八號ノ如シ

(ハ) 豫防注射

患者發生ノ地域并發生ノ虞アル地方ニ對シ豫防注射ヲ施行セリ

其ノ成績別表第九號ノ如シ

(ニ) 膽汁培養基ノ交付

傳染病患者ノ早期診定ノ一助トシテ八月ヨリ膽汁培養基ヲ製造郡部醫師會員ニ對シ無料交付セリ

其成績別表第十號ノ如シ

四、宮内傳染病流行病ノ豫防ニ關スル件

(イ) 宮内傳染病流行病ノ豫防ニ關シテハ四月十六日宮内、内務兩次官ノ依命通牒ニ基キ各警察署長都市醫師會ニ通牒シ發生患者ノ通報ヲ受ケ宮内、内務兩省ニ報告スルト共ニ相當豫防ノ方策ヲ講シタリ

其ノ發生數別表第十一號ノ如シ

五、御沿道ノ警戒

兩陛下 十一月六日京都行幸啓并十一月二十七日還幸啓ニ際シ縣下沿道樞要ノ箇所ニ前日ヨリ防疫職員ヲ派シ衛生上遺憾ナキヲ期シタリ

六、參考事項

(イ) 大禮特別觀艦式舉行セラレ、ニ際シ國民保健協會主唱ノ下十一月二十七日ヨリ一周間横濱全市淨化デー開催家屋ノ内

外ヲ清掃シ各人ノ攝生ニ注意シタキ趣ヲ以テポスター配布方依頼越サレタルニ付市内各警察署ヲ通シ各巡査駐在所交番
 所其他概要ノケ所ニ掲出セシメ以テ其ノ目的達成ヲ援助シタリ
 (ロ) 猶五月一日以降十一月三十日迄ノ法定傳染病發生數ハ第十二號ニ示ス

(第一號表)

鼠族検査成績表 (自五月一日起至十二月三十日)

鼠シタル市町村	鼠			細菌検査ヲ行ヒタル數	同ハサル數	同上行ハサルモノ、内乾固又ハ腐敗セシモノ	其ノ他
	買收	共計	他				
横濱市	五三、三六六			五三、三六六	一九、八二九	一〇、七九五	九、〇三四

備考 本表検査鼠族中「ベスト」菌ヲ有スルモノナシ

(第二號表)

死體検査成績 (自五月一日起至十一月三十日)

市町村	計	鼠		肺病	助膜炎	衝脚心氣	腸出血	痲痺心臓	敗血症	腺炎腫	筋肉炎	丹毒	ベスト	其他傳染病	其ノ他
		男	女												
横濱市	二五〇	一一三	一三七	一九二	二六	八八	一八九	四七	九			三			一、八〇二
計	二五〇	一一三	一三七	一九二	二六	八八	一八九	四七	九			三			一、八〇二

(第三號表)

「コレラ」豫防注射成績 (自八月二十日起至十二月二十日)

業態別注射人員備考

艦船行商人 一、一五〇 延日數百三日間一日平均二百十六人四分

水船々夫 五八〇 注射班五班

沖人夫 六、〇六二 (一班ノ組成防疫醫一、防疫監吏二、警察官一、

沿岸人夫 七九九 看護婦二)

其ノ他水上關係者 一三、六四三

塵船々夫 八三

計 二二、二九七

(第四號表)

船舶健康視察成績 (自九月二十九日起至十二月二十九日)

健康視察ヲナシタル船數	同 上 人 員		發見シタル普通病者
	男	女	
一九、一五七	二二、〇八三	一〇、六九二	三二、七七四
計			六

備考

視察班ハ二班ヲ組織シ横濱水上署ニ配置シタルモノニシテ一班ノ組成ハ防疫監吏一巡査ヨリ成ル

(第五號表)

船舶検査成績 (自十月十三日至十月三十日)

船舶數 同乘組員數 開始月日 閉止月日 備考
 四四 二、九〇一 十月三日 十月十三日 一日平均四隻人員二六二

備考

本表ハ大阪ヲ發シ又寄港シテ來港シタルモノニ對シテ行ヒタルモノナリ

(第六號表)

虎列刺ボスター配布表

六千五百五十枚

(第七號表ノ一)

赤痢前年度患者保菌調査成績

郡市別	検査人員		成績
	男	女	
横濱市	三三三	二六	五八 檢出セス
鎌倉、三浦、高座、中、愛甲、足柄上、下ノ各郡	三三三	三三三	六六 同
計	六五	五九	一二四 同

(同) 腸チフス、バラチフス前年度患者保菌調査成績

郡市別	検査人員		成績
	男	女	
横濱市	一二六	七〇	一八六 檢出セス
川崎市	一八	一六	三四 同
橋本、都筑、鎌倉、三浦、高座、中、愛甲、足柄上、下、津久井各郡	一八四	一六二	三四六 同
計	三一八	二四八	五六六 同

(第七號表ノ二)

特殊業態者保菌調査成績 (自九月中旬 至十月中旬)

旅館	料理店	飲食店	劇場	市場	學校	賭博場	工場	寄宿舍	計
一、四五六	一、八八四	五、五一七	六七	七一	六一	九、〇五六			

(第八號表)

檢病的戸口調査成績 (自五月三十一日 至十一月三十日)

施行シタル市町村名	檢診シタル戸數	同上人口	發見シタル傳染病患者	同上普通病患者
横濱市	八、〇四五	三三二、二九二	一	三三二

(第九號表)

腸チフス豫防注射施行成績 (自四月三十一日 至十一月三十日)

郡市名	横濱市	横須賀市	三浦郡	高座郡	中郡	計
注射人員	一、〇六五	四、六八五	五、四七五	一、八七八	二、八二〇	一五、九二三

(第十號表)

御大禮ニ關シ膽汁培養基配布場所並ニ數量

個數	検査法	同上検査成績	
		陽性	陰性
一、二〇九	五七	一〇	四七

胆汁培養基検査成績表

自發病 至血液採取	期間	検査数	陽性数	同上百分率
一週日以内ノモノ		三〇	一九	三〇・〇
二週日以内ノモノ		二〇		五・〇
三週日以内ノモノ		三		
四週日以内ノモノ		二		
發病不明ノモノ		二		
計		五七	一〇	一七・七

(第十一號表)

宮内傳染病患者發生數 (自八月一日至十二月四日)

流行性感胃	麻疹	流行性耳下腺炎	流行性腦炎
三九七	八四五	一五四	三

(第十二號表)

傳染病患者發生表 (自五月一日起至十一月三十日)

横濱市	横須賀市	川崎市	久良岐、橋本、都筑、鎌倉、三浦、高座、中足柄上、下、愛甲、津久井各郡	計	腸チフス	パラチフス	赤痢(疫痢ヲ含ム)	チフテリア	猩紅熱	流行性膜性腦炎脊痘	疥瘡
二一三	六五	三七	二六八	五八三	二一三	八三	一九八	二一四	七〇	一	三
一四	二	二	一三七	二二六	一四	二	二八七	二	九	一	一
一九八	二八七	一四	三〇一	八〇〇	一九八	一四	一五三	一五三	一八	一	一
三三三	四八	二	一五三	三三三	三三三	二	一五三	一五三	一〇三	五	四

御大禮ニ關シ製造セシ「ワクチン」種類及數量

種別	製造量	摘要
威作チブスワクチン	三八、七四〇cc	交付 一四、四〇〇cc
威作コレラワクチン	五〇、三六〇cc	交付 二四、三〇八cc

右從事職員ハ福田課長外五十八名ナリ

第五部

一、御大禮ニ付御警衛ノ爲メ京都府及三重縣ヘ派遣セラルヘキ警察官ノ健康診断及腸チフス豫防注射施行ノ件
 京都府ヘ派遣セラルヘキ警察官四拾九名ニ健康診断ヲ施行シ合格者四拾壹名不合格者八名アリ
 其ノ合格者四拾壹名ニ對シ腸チフス豫防注射ヲ二回實施ス三重縣ヘ派遣セラルヘキ警察官百四拾九名ニ對シ健康診断ヲ施行ス
 其ノ内三名不合格者アリ而シテ合格者百四十六名ニ對シ腸チフス豫防注射ヲ二回施行セリ
 右從事職員ハ石川技師外三名ナリ

二、御大禮地方變遷御料理納入者並ニ之等ノ物品取扱従事者ニ對スル健康診断ノ件

右健康診断施行期日、十一月八日、十二日、十三日ノ三日間ニ施行ス

檢診人員 百十三名

内疾病人員

十五名(内 輕症トラホーム 三名、急慢性腸加答兒 二名、局性腸炎 九名)

而シテ健康診断施行人員全部ニ對シテ糞便検査ヲ行ヒシモ病原菌ヲ認メス其成績左表ノ如シ

○地方養蠶調理關係者保菌調査成績 (腸チブス菌)

男 五十三名 女 六十名 計 百十三名 檢出セス

合計 百十三名

右從事職員ハ三名ナリ

三、御大禮雉子献納者ニ對スル健康診断施行ノ件

雉子、献納者及其ノ家族五名ニ對シ健康診断ヲ施行ス而シテ右病者及保菌者ヲ認メス

右從事職員二名

四、地方靈巖並ニ市民奉祝日ニ於ケル救護班設置ノ件

期日 十一月十六日、十七日

場所 横濱公園式場内ニケ所

救護件數 七(脚疾血 二、打撲傷 四、脚病 一)

右從事職員ハ石川技師外十四名及看護婦十四名ナリ

五、御大禮ニ關シ續豫防ニ關スル件

實施事項

イ、浮浪徘徊ノ癩患者ノ取締ヲ嚴重ニスルコト

ロ、一時救護設備ヲ完全ナラシムルコト

ハ、私宅療養患者ヲ濫リニ外出セシメサルコト

ニ、私宅療養患者ニアリテハ消毒方法ヲ勵行セシムルコト

實施事項ノ成績

視察シタル患者數

男患 四〇人

女患 二二人

計 六二人

死亡ヲ發見シタル數

男	三	女	二	計	五
住所移動ヲ發見シタル數					
男	二	女	一	計	三
病院ニ收容シタル數					
男	一	女	二	計	三

消毒其ノ他豫防法ニ付加論シタル者
其ノ内

患者ノ居室ヲ區別セス雜居セルモノ	男	二	女	一	計	三
消毒藥ノ常備ナキモノ	男	七	女	九	計	一六
患者専用ノ理髮器具ナキモノ	男	二		計	二	
外出上ニ注意ヲ缺クモノ	男	三	女	四	計	七
病汚染物ノ措置不當ノモノ	男	二		計	二	
患者用寢具消毒不完全ナルモノ	男	一		計	一	
患者居室清潔ナラサルモノ	男	二	女	一	計	三

右從事職員石川技師外二名

第六 部

一、花柳病豫防ニ關スル件

横濱、横須賀、川崎、高津、戸塚、鎌倉、逗子、葉山、田浦、浦賀、藤澤、茅ヶ崎、平塚、大磯、小田原、箱根一圓ニ於ケル
藝妓、酌婦、雇婦等ヲ以テ組織セル自衛的保健組合、其組合ヲ設立セサルモ斯種業體者ト認ムヘキモノニ對シ保健組合ノ各囑
託醫又ハ警察醫ヲシテ十一月中ニ三回觀艦式舉行後五日以内ニ更ニ一回宛ノ局部檢診ヲ施行セシメ罹病者ニ對シテハ可及的治

療ヲ督勵シ全治證明アルニアラサレハ客席ニ侍ラサルコトヲ實行申合セヲ爲サシメタル外九月ヨリ觀艦式舉行ニ至ル四ヶ月間ニ亘リ花柳病傳播ノ最モ慮多シト認ムル業者ニ對シ豫防講演會及活動寫真會ヲ開催シテ豫防ニ努ムルコト十五回ニ及ヘリ娼妓ニ對シテハ營業者ヲ督勵シテ (一)「サツク」ノ使用ヲ客ニ勸說セシムルコト (二)「サツク」ノ使用ヲ肯セサル時ハ豫防劑ヲ備ヘ置キ客ニ提供シテ使用勸說ニ努ムルコト (三) 花柳病ニ罹レルコトヲ自覺スルト否トニ拘ラス直後五千倍ノ過滿醋酸加里水ヲ以テ洗滌スルコト (四) 組合ニ花柳病豫防ボスターヲ作製セシメ各室ニ貼付シテ豫防知識ヲ涵養スルコトニ努メタルト共ニ豫防劑ノ調製ヲ指示シテ調劑配布使用セル數量十五萬瓦ニ及ヘリ

右從事職員ハ富永技師外四名ナリ

第七部

一、狂犬病豫防ニ關スル件

(イ) 狂犬病豫防思想及普及宣傳

七月一日ヨリ七日ニ至ル一週間全國一齊ノ狂犬病豫防週間ヲ實施スルノ外十月一日ヨリ九日ニ至ル間横濱市、三浦及東海道鐵道沿線ノ各警察署管内ニ於テ狂犬病豫防デーヲ實施シ宣傳浪花節及活動寫真ヲ應用シ豫防講話ヲ行ヒ大イニ豫防思想ノ普及宣傳ニ努メタリ

右從事職員ハ鈴木技師外九名ナリ

(ロ) 野犬ノ掃蕩

野犬ノ掃蕩ニハ常ニ努力ヲ吝マヌ捕獲人夫ヲ督勵シテ掃蕩ノ實ヲ舉ケタルノ外前記狂犬病豫防週間、豫防デーニハ野犬不要犬ノ買收ヲ行ヒ別記ノ成績ヲ收メ得タリ尙觀艦式ニ對スル施設トシテ十月二十一日ヨリ同月末迄野犬捕獲班ヲ組織シテ横濱、川崎、兩市内ノ野犬ヲ掃蕩スルト共ニ式當日ハ市内十二ヶ所ノ衛生救護班ニ係員及捕獲人ヲ配置シ掃蕩ノ完璧ヲ期シタリ

右從事職員ハ鈴木技師ノ外八名ナリ

(ハ) 狂犬病豫防注射

豫防注射ハ本病豫防上最モ緊要事ナルヲ以テ本年七月以降全縣下ノ畜犬ニ對シ之ヲ實施シタリ

右從事職員ハ鈴木技師外十名ナリ

(ニ) 畜犬ノ戶別的調査

畜犬ノ整理ハ本病豫防施設ノ基礎ヲナスモノナレハ前記豫防週間及豫防デーニ際シ縣下各警察署、青年團、在郷軍人、衛生組合等ト協力シ畜犬ノ戶別的調査ヲ實行シタリ

右從事職員ハ七名ナリ

二、炭疽豫防ニ關スル件

(イ) 炭疽豫防注射

既往ノ發生ニ鑑ミ七月以降縣下ノ牛馬ニ對シ別記成績ノ通り注射ヲ實施シタリ

右從事職員ハ鈴木技師外七名ナリ

(ロ) 家畜市場及畜舎清潔法勵行

畜舎ノ清潔ヲ保持スルハ家畜ノ健康ヲ促進スルノミナラス公衆衛生上最モ重大ナル關係アルヲ以テ特ニ警察署市町村役場畜産組合等ニ通牒ヲ發シ一般畜主ニ對シ督勵方ヲ依頼スルト共ニ消毒藥品ノ無償交付ヲ行フ等銳意之カ實行ニ努メタリ

右從事職員六名ナリ

施設成績

一、狂犬病豫防思想普及宣傳ノ件

豫防講話會開催度數

百四拾八回

(内) 普通講話會
浪花節應用

七十二回

活動寫真應用

六十七回

計

前項ノ如シ

二、野犬掃蕩ニ關スル件

野犬不要犬掃蕩數 八千三百九十頭(內 捕獲頭數 三千九百六十三頭 買收頭數 四千四百二十七頭)

計 前項ノ如シ

三、狂犬病豫防注射ノ件

予防注射實施頭數 一萬千〇六十二頭

四、炭疽豫防注射頭數

一千七百四十五頭(內 牛 一千五百四十九頭、馬 百九十五頭)

計

屠畜検査係ハ鈴木技師外十二名ナリ

右ハ四月十六日以降銳意屠畜検査ニ從事セリ

第八部

一、衛生組合ニ關スル件

(一) 衛生組合ノ整備並振興ノ方策

昭和三年三月縣令第二十七號ヲ以テ更ニ衛生組合規則發布セラレタルニ付從來ノ法令ニ依リ既ニ設置セル衛生組合ニ對シテハ速ニ新令ニ適合セシメ未タ設置ナキ市町村ニ對シテハ此ノ機ニ於テ之ヲ設置セシメ以テ縣下ニ普ク衛生組合ノ整備ヲ期セシムルニ努メタリ

殊ニ御大禮ニ近接シテハ一層其ノ整備ヲ圖リ振興ヲ促進スル爲メ八月三十日衛發第六六八號ヲ以テ市町村長ニ、同月十日附衛第七二〇號ヲ以テ所轄警察署長ニ通牒シ夫々指導督勵シテ之カ整備振興ニ努タリ其ノ結果トシテ別表ノ通り新規則ニ適合セル組合ノ整備ヲ見横濱市ヲ始メトシテ他市町村ニ於ケル組合ハ何レモ相當ノ發達ヲ告ケ衛生施設ニカヲ致シテ其成績見ルヘキモノアリ

(二) 衛生組合指導講話會ノ開催

衛生組合ヲシテ衛生上ニ於ケル機能ヲ充分發揮セシメ施設上遺憾ナカラシムカ爲メ別表ノ通り指導講話會ヲ開催シ各市町村

ニ於ケル組合事務取扱者及現衛生組合員等ニ關係規則ノ概要並ニ解説組合事業ノ參考、衛生施設其ノ他衛生上必要ナル事項ヲ講話指導セリ講話會開催數 二八 講話者 二五二六

(三) 御大禮衛生施設ニ資スル印刷物ヲ配付シテ組合ヲ督勵

衛生組合ニ對シ印刷物ヲ以テ御大禮ニ際シテ施設スヘキ參考事項ヲ指示シ各組合ノ衛生施設ヲ促シテ之ヲ督勵シ一面行政方面ニ於ケル一般衛生施設ノ助成及普及徹底ヲ期セシメタリ 之ニ依リ撒水車ヲ増設シ又撒水回数ヲ増加シ、或ハ各組合競ヒテ宣傳引札等ヲ頒布シテ夫々活動シタリ

(四) 組合員ノ衛生事項實行強調ニ關スル件

組合員ニ衛生事項ヲ實踐躬行セシムヘク衛生組合ヲシテ實行申合ヲ爲サシメ其ノ申合セ事項其ノ他ヲ組合又ハ聯合會等ヨリ印刷物引札等ヲ以テ各戸ニ配付セシメ其ノ強調ヲ圖リ一方衛生デー又ハ衛生講話會等ヲ開催セシメテ直ニ指導督勵シ其ノ徹底ヲ期セシメタリ

(五) 其他横濱市内及横須賀市内ノ衛生組合ヲ促シテ組合單獨ノ清潔方法、消毒方法等ヲ實施セシメ傳染病豫防上遺漏ナキ様努メシメタリ

右從事職員ハ四名ナリ

(六) 七月以降ニ於ケル衛生組合整備狀況(規約改正認可セルモノ)

市郡別	整備セル組合數	市郡別	整備セル組合數
横濱	一八六	鎌倉	一
横須賀	二五	高座	一七
久良岐	二	中浦	二〇
橋本	三	三浦	三
都筑	三	足柄上	三三

二、衛生思想普及ニ關スル件

(一) 衛生講話會、展覽會及活動寫真會ノ開催

衛生思想ノ普及ニ關シテハ衛生講話會同展覽會等ヲ開催セシ外特ニ衛生活動寫真班四班ヲ編成シ各班ニ機械係員及説明係員一名又ハ二名衛生講話ノ爲メ適當ナル講師ヲ加ヘテ横濱市ヲ始トシ樞要地域四十六ヶ所ニ亘リ開催セシニ其成績觀覽人員五萬六千百九十五名ヲ算シ衛生思想普及上相當效果ヲ歛メタリ

三、街路撒水ニ關スル件

横濱市土木局道路課、同電氣局及市内各衛生組合ニ付撒水施行道路及之レカ實施狀況、汲取個所ノ位置並ニ衛生的見地ヨリ用水ノ適否ヲ嚴密ニ調査シ更ニ標準トナリ得ル用水汲取所河海水十ヶ所井戸三ヶ所ヲ撰定シ滿干兩時ニ踏査ヲ行ヒ檢査材料ヲ採集細菌檢査ヲ施行セリ尙御大禮期間ニ於ケル撒水ニ付再三撒水主體當事者ト懇談シ之レカ遺漏ナキヲ期シタリ其成績左ノ如シ

横濱市役所道路課施行撒水狀況

- 一、撒水用具 撒水自動車全部同一型現在使用七台一台用水積込高十三石五斗(重量三噸)
- 二、一車撒水能率 三間幅四百五十間一、三五〇坪一坪ニ付約一升撒水ノ制速力七一八哩
- 三、撒水有效時間 コンクリート、アスハルト道路十五分乃至二十分普通道路一時間乃至二時間
- 四、撒水汲取ノ方法 全部モーターポンプヲ使用河水汲取
- 五、一車一回使用ニ要スル時間 用水積込時間五分撒水時間四分平均往復ニ要スル時間六分計十五分
- 六、一日勤務時間、九時間
- 七、同一道路撒水回数 一日平均六回

- 八、撒水延面積 一車一日三十六回使用、行程一六、二〇〇間面積四八、六〇〇坪七臺ニテ面積三四〇、二〇〇坪
- 九、撒水實面積 一日同一道路六回撒水ニ付一車行程二、七〇〇間面積八、一〇〇坪七臺ニテ面積五六、七〇〇坪
- 一〇、一ヶ月平均使用日數 晴天二十日ノ見込
- 一一、使用人員 定員十四名一臺運轉手、助手各一名ノ割豫備員ナシ
- 一二、撒水汲取場所 十ヶ所同豫定地三ヶ所

市役所電氣局施行撒水狀況

- 一、撒水用具 撒水電車現在使用四臺、二臺増加ノ豫定一臺容量量二十七石(重量六噸)
- 二、撒水電車速力 約八哩
- 三、同一線路撒水回数 一日三回乃至四回
- 四、撒水線路延長 生麥、櫻道間、磯子山下町間、横濱驛、西平沼間、馬車道、南六ッ目間、延長往復二二、〇〇〇間
- 五、一臺撒水能率 一六五〇間幅六尺、面積一六五〇坪、
- 六、撒水汲取ノ方法 モーターポンプ使用河水汲取
- 七、用水積込所要時間 二十分乃至四十分
- 八、撒水有效時間 十五分乃至四十分
- 九、使用人員 八名一臺運轉手車掌各一名ノ割雨天ノ際ハ普通電車運轉ニ從事ス
- 一〇、撒水汲取場所 二ヶ所豫定地一ヶ所

衛生組合等主管撒水狀況

所 轄 署	調査衛生組合數	撒水施行ノ衛生組合其他團體數	撒水施行(本年)豫定組合數	用 水	用 具	用 具 數
加賀町署	一四	七	二	井水、河水、海水	手 車	一三

伊勢佐木署	三	五	〇	井水、河水	同	八
壽部署	二	八	一	井水、河水	同	三
戸部署	三	八	一	井水、河水	同	三
鶴見署	三	三	二	井水、河水	手車	三
保土ヶ谷署	一	八	一	井水、河水	手車	一
山手署	二	二	一	井水、河水	手車	一
神奈川署	六	四	一	井水、河水	手車	一
磯子署	一	一	一	井水、河水	手車	一
計	二	六	一	井水、河水	手車	二

撒水能率

撒水用具	容量	平均一車撒水能率		一坪平均撒水量	平均有效時間		平均一車撒水所要時間	一日使用時間
		行程	幅面		鋪裝路	普通道路		
市道路撒水自働車	十三石五斗	四	五〇	一、三五〇	一	一時間三十分	十五分	九時間
市電氣局撒水電車	二十七石	一、六	五〇	一、六五〇	一	一時間三十分	十五分	同
撒水手車	一石	六〇	五	五五	一	一時間十五分	十分	同
同	一石五斗	一〇〇	六	一〇〇	一	一時間十三分	十分	同
同	二石	一一〇	六、五	一二一	一	一時間	十分	同

撒水汲取所及用水ノ概況

横濱市道路課及電氣局所管汲取所十二ヶ所ノ内山下橋際ナルハ位置海濱ニ近ク撒水用水トシテ良好ナルモ其他ハ市内河川ノ通有タル河水海水並ニ流入汚水ノ混雜セルモノ多ク撒水用トシテ適當ト認ムル能ハス衛生組合等使用ノ井戸二十七個ハ其汲取装置概シテ被蓋セラレタル手押ポンプナルヲ以テ撒水トシテ佳良ナルモ同河川汲取所五ヶ所ハ前記市汲取所ヨリ狀況一層不良ニシテ之レガ汲揚水ヲ直ニ撒水セシムルハ遺憾ノ點ナシトセス

而シテ市内河川水ヲ以テ撒水普通ト認ムル場合ニ區別スル時ハ左表ノ如シ

所管	種別	良好	普通	不良	計
衛生組合其他	井水	八	一九	一	二七
撒水組合等	海水	一	一	一	三
河川	河水	一	九	二	一二
計	河水	一〇	二九	五	四四

細菌検査

一、撰定ノ場所

神奈川區子安町末廣橋際	河水
神奈川區高島町金港橋際	同
神奈川區岡野町新田間橋際	同
中區本町辨天橋際	同
中區萬代町鶴ノ橋際	同
中區山下町山下橋際	同
中區南吉田町五ツ目駿河橋	同
中區根岸町坂下橋際	同
中區元濱町萬國橋際	海水
中區末吉町南吉田橋際	河水
中區永樂町二丁目二十番地	井戸

中區伊勢佐木町興信銀行井 井戸
 中區太田町三丁目街路 井戸

二、細菌検査成績

イ、満潮時ノ水質検査

七月二十七日(天候曇後晴)材料採取即日検査施行

採取前ハ雨天多シ

番號	採取場所	種別	1cc中ノ細菌數
一	子安末廣橋	河水	四六、〇〇〇
二	高島町	同	一六三、〇〇〇
三	岡野町	同	二〇〇、〇〇〇以上
四	辨天橋	同	二〇〇、〇〇〇以上
五	鶴ノ橋	同	七二、〇〇〇
六	駿河橋	同	二〇〇、〇〇〇以上
七	山下橋	同	二〇〇、〇〇〇以上
八	根岸坂下橋	同	六一、〇〇〇
九	萬國橋	海水	一三四、〇〇〇
十	南吉田橋	河水	三六、〇〇〇
十一	永樂町	井戸水	二〇〇、〇〇〇以上
十二	伊勢佐木町	同	二〇、〇〇〇
十三	太田町三丁目	同	六、〇〇〇

A } 1cc中ノ細菌數
 B }

ロ、干潮時ノ水質検査

九月十四日(天候晴)材料採取即日検査施行

採取前ハ殆晴天續キナリ

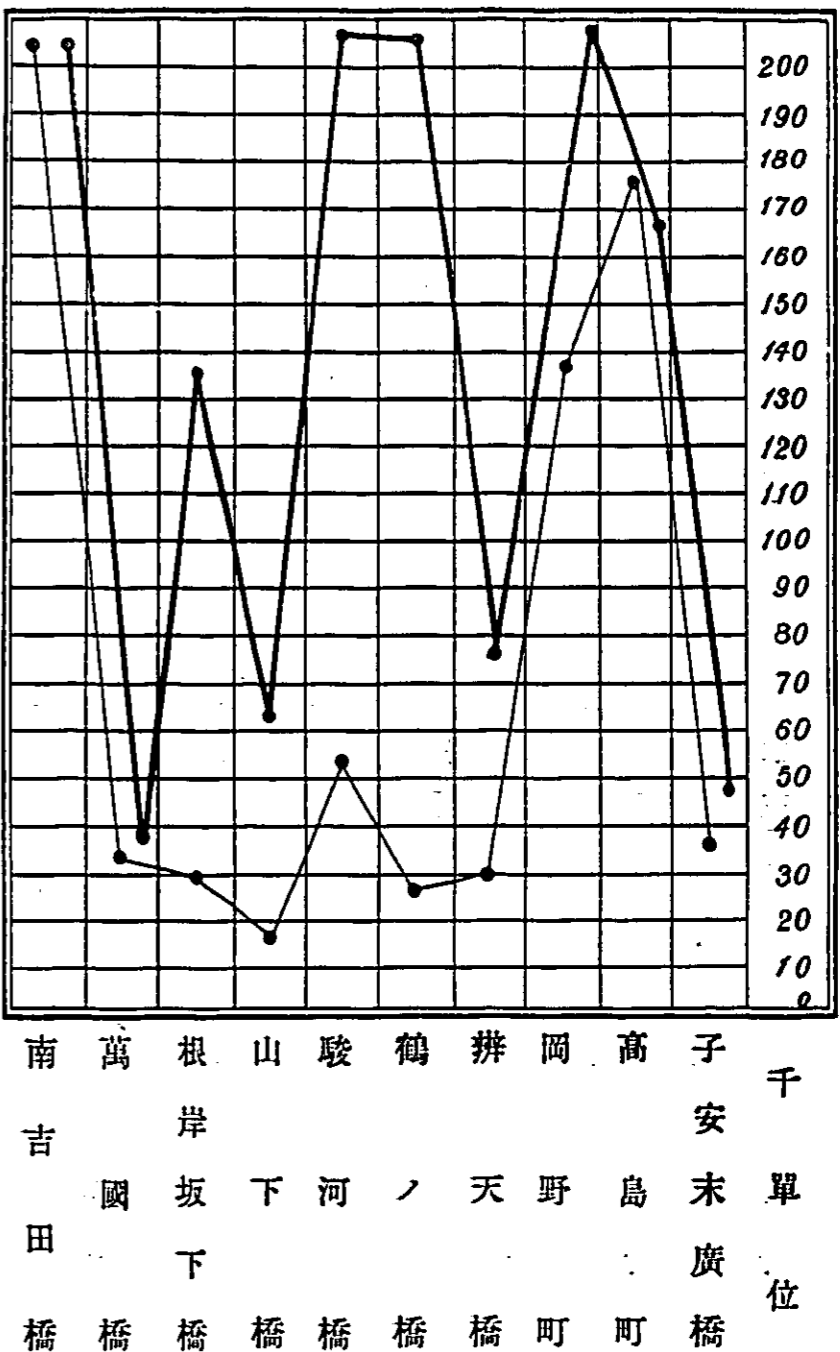
番號	採取場所	1cc中細菌數	大腸菌族	其 他
一	子安末廣橋	三六、〇〇〇	検出セズ	白色及黄色、葡萄狀菌靈菌
二	高島町	一七五、〇〇〇	大腸菌ヲ検出ス	同綠膿菌
三	岡野町	一三九、〇〇〇	同	同
四	辨天橋	三〇、〇〇〇	同	同
五	鶴ノ橋	二九、〇〇〇	同	同
六	駿河橋	五三、〇〇〇	同	同
七	山下橋	一七、〇〇〇	検出セズ	同
八	坂下橋	三〇、〇〇〇	大腸菌ヲ検出ス	白色及黄色葡萄狀球菌
九	萬國橋	三一、〇〇〇	検出セズ	同
十	南吉田橋	二〇〇、〇〇〇以上	大腸菌ヲ検出ス	同
十一	永樂町	二、三〇〇	検出セズ	球菌及枯草菌
十二	伊勢佐木町	一、二〇〇	同	球菌及桿菌
十三	太田町三丁目	三〇〇	同	同

備考 Aハ水面以下約三尺乃至六尺ノ部位ヨリ取上ポンプヲ以テ汲取リタルモノニシテ實際ニ抽水ニ使用スル水ナリ

Bハ参考トシテ同一場所ニ於ケル水ノ表面ヨリ汲取リタルモノナリ

備考 水面以下約二尺五寸乃至三尺五寸ノ部位ヨリ取上ポンプヲ以テ汲取リタルモノニシテ實際ノ抽水ニ使用スル水ナリ

細菌數一覽表



一、撤水汲取所設備、周圍ノ狀況及細菌學的検査ニ據ル成績

撤水汲取所	設備	周圍ノ狀況	1cc中細菌數	判定
子安末廣橋	稍良	可	四六、〇〇〇	修繕ヲ要ス

場所	設備	周圍ノ狀況	1cc中細菌數	判定
高島町	不良	不潔	一六三、〇〇〇	不良
岡野町	不良	不潔	二〇〇、〇〇〇	不良
辨天橋	良	良	七二、〇〇〇	良
鶴ノ橋	良	不潔	二〇〇、〇〇〇	改良ヲ要ス
駿河橋	不良	不潔	二〇〇、〇〇〇	不良
山下橋	良	良	六一、〇〇〇	良
根岸坂下橋	良	可	一三四、〇〇〇	改良ヲ要ス
萬國橋	不良	不潔	三六、〇〇〇	改良ヲ要ス
南吉田橋	不良	不潔	二〇〇、〇〇〇	不良
永樂町(井戸)	不良	不潔	二〇、〇〇〇	修繕ヲ要ス
伊勢佐木町(井戸)	良	良	六、〇〇〇	良
太田町三丁目(井戸)	良	良	六〇〇	良

以上調査セルモノヲ總括スルニ横濱市道路課ニ於テ二等大路幅員六間以上ノ街路ニハ撤水スル方針ヲ採リ居ルモ現在撤水自働車數ニテハ充分ナラス

市電氣局主管軌道撤水ニハ撤水電車四輛ヲ使用シ居ルモ汲取所ノ配置及ヒ數ノ關係ヨリ充分ナラス

衛生組合ノ撤水ニ就テハ市内復興ノ途上ニアリ區劃整理道路改修未完了ノタメ設備ノ完全セルモノ少ナキ狀態ナリ撤水ニ

使用スル水質ニ付テハ海面ニ面セルカ或ハ隣接セル汲取所ニ於ケルモノハ其質良ナルモ市内河水ノ水質ハ護岸工事河川浚渫

下水工事等ノ復興事業ノ爲メ其質良ナラス

上記ノ如キ狀態ナルヨリ市道路課ニ對シテハ撤水自働車ノ増加電氣局ニ對シテハ汲取箇所ノ増設ヲ要求シ市内衛生組合ニ對シテハ街路撤水設備ヲ爲スヘキ注意方所轄警察署ニ通牒ヲ發シタリ尙水質撤水ニ不適ナルモノニ對シテハ復興完成ヲ待ツテ再調

查研究ノ上適當方法ヲ講スルコト、セリ
 觀艦式當日橫濱市内街路撒水ニ關シテハ同市土木局道路課ニ於テハ前日夕刻充分撒水ヲ爲シ更ニ當日ハ未明ヨリ之レヲ開始拜
 觀者出盛期迄ニ全路ノ撒水ヲ終了シ鋪裝路ハ洗滌スヘク多量ノ撒水ヲ爲シタリ尙常時ハ撒水セサル特種歩道例ヘハ舊橫濱驛、
 櫻木驛間省線側歩道ノ如キ特ニ撒水ヲ爲スヘキ様注意セリ
 電氣局ニ對シテハ前夜間軌道ノ撒水ヲ要求セルモ夜間撒水ハ事情困難ナル理由アルヲ以テ不得止出來得ル限り撒水ヲ勵行スヘ
 ク注意セリ、市内各衛生組合ニ對シテモ撒水勵行方通牒ヲ發シタリ
 右從事職員中村技師外四名

第九部

一、トラホーム豫防ニ關スル件

イ、旅館、木賃宿、下宿屋、理髮店(女髮結ヲ含ム)、料理店、飲食店、待合、合宿舍、藝妓、娼妓(營業者、從業者ヲ含ム)
 酌婦、給仕人、案内人、劇場、寄席、活動寫真館、觀物場、看護婦、產婆、鍼灸按摩、營業用自動車、馬車、人力車、
 電車ノ乗務員ニ對シテ六、七、八月ノ三ヶ月間ニ亘リ健康診斷ヲ施行シタルニ其成績左記ノ通ニシテ患者ニ對シテハ治療票
 ヲ交付シ市町村ト警察署ト協力シテ毎月二回宛ノ治療票點檢ヲナシタリ

檢診人員	計	ト		ホ		患者
		症	輕	疑	似	
男	二八、〇六三	男	九一〇	男	二六三	男
女	三一、四五四	女	一〇三	女	一三三	女
計	五九、五一七	計	一、〇一三	計	三〇〇	計
						一、三七八

ロ、客ノ來集ヲ目的トスル旅館、下宿屋、木賃宿、貸座敷、料理店、飲食店及神社佛閣ニ於ケル共用手洗装置、洗面器ノ清
 潔保持及共用手拭ヲ常備スルノ不止得モノニ對シテハ洗濯シタルモノト時々交換セシムルコトヲ嚴守セシメタリ
 右從事職員ハ見留技師外十三名ナリ

第十部

一、結核豫防ニ關スル件

イ、結核豫防物件ノ消毒

旅館、木賃宿、下宿屋、貸座敷、待合茶屋、合宿所等ノ寢具類(浴衣ヲ含ム)貸蒲團、貸衣裳、劇場寄席、活動寫真館、遊
 戲場、觀物場等ニ於ケル貸座蒲團ニ對シテハ十一月中ニ一回觀艦式舉行後十日以内ニ更ニ一回宛ノ縣立消毒所ニ於テ蒸汽
 消毒又ハ「フオルマリン消毒」ヲ營業用電車、馬車、自動車、人力車、乘客待合所、劇場、寄席活動寫真館、遊戲場、觀物
 場、理髮店、女髮結、湯屋ノ脱衣場ニ對シテハ十一月中ニ一回宛觀艦式舉行後十日以内ニ更ニ一回宛ノ場内消毒ヲ施行セ
 シメタル外旅館、料理店、飲食店、貸座敷、待合茶屋其他客ノ來集ヲ目的トセル場所ニ於ケル便所戸障子ノ引手其他必要
 ナル部分ニ對シテハ常ニ消毒的清潔ヲ保持セシメ尙ホ客ノ來集ヲ目的トスル營業所ニ對シテハ唾壺ノ配置ヲ適當ナラシメ
 唾壺内ノ清潔唾痰ノ消毒ヲ嚴守セシメ更ニ理髮店、女髮結ニ於ケル豫防衣客用白布、襟卷等ハ一客毎ニ洗濯シタルモノヲ
 使用セシムルコトニ努メタリ而シテ劇場寄席、活動寫真館、觀物場、湯屋ノ消毒ヲ爲シタルモノハ八千三百四棟、電車自動
 車人力車遊覽船壹千四百十六臺、寢具類一萬三千八百三十七貫目、座蒲團二千四百貫七百五十匁、衣服類壹千貳百七十六
 貫八百匁ニ達シタリ

右從事職員ハ小俣防疫醫外二十一名

ロ、結核豫防健康診斷

飲食物製造業、料理店、飲食店、牛乳店、旅館、木賃宿、下宿屋、合宿所、理髮店、女髮結、貸蒲團貸衣裳ノ各營業者及
 從業者、藝妓、娼妓、酌婦、給仕人、觀物場等ノ案内人、產婆、看護婦、鍼灸按摩、營業用自動車、馬車、人力車ノ各接
 客營業者六萬二千六百九十九人ニ對シ健康診斷ヲ旅行シタルニ患者七名ヲ發見シ何レモ直接業務ニ從事セシメ他ニ轉地
 療養セシムルカ或ハ市立療養所ヘ入所ヲ命シ豫防上遺憾ナキヲ期シタリ
 右從事職員ハ小俣防疫醫外十三名ナリ

一、精神病者ノ取締ニ關スル件

イ、私宅監置精神病者ノ取締

管下各警察署ヲ督勵シ十月一日ヨリ十二月四日迄七回ニ涉リ私宅監置精神病者ノ一齊取締ヲ施行セリ

其結果十月一日現在監置(私宅ノミ)男九三、女二五名、合計百十八名ニ對シ調査ヲ遂クルニ其成績左ノ如シ

	男	女	計
イ、監置室ノ構造堅牢ナラスト認メ改修ヲ命シタルモノ	三	一	四
ロ、鎖鑰不完全ナリシモノ	一	二	三
ハ、採光不十分ナリシモノ	一	二	二
ニ、室内不潔ナリシモノ	三〇	六	三六
ホ、支障ナカリシモノ	五九	一四	七三
計	九三	二五	一一八

ロ、病院監置精神病者ノ取締

縣下ニ於ケル精神病者收容所ハ横濱市立救護所及私立横濱腦病院ニシテ十月一日現在監置者男一六七、女一一八名、合計二八五名アリ救護所ハ定員(九六)ヲ收容セシメ特ニ看護人ヲ増員セシメサリシモ勤務時間ヲ延長シ逃走其他事故ナキ様警戒ヲ嚴ニセシメ横濱腦病院ハ定員以外ノ收容ヲ認ムルト同時ニ看護人ヲ増員セシメタリ又未治患者ノ退院ハ必ス當廳ノ認諾ヲ受ケタル後ニアラサレハ義務者ニ引渡ヲナサ、ル様注意シタルタメ期間中廢止セシメタルモノ一名ニシテ京都府へ歸郷スルモノナルニヨリ豫メ同縣警察部ト打合セノ上引渡ヲ認可セリ

ハ、未監置精神病者ノ監護

監護義務者ニ懇諭シ保護セシメタルタメ檢束假監置ヲ行ヒタルモノナシ

以上ノ通りニシテ取締期間中何等事故ナク良好ナル成績ヲ收メタルモノト認ム
右從事職員ハ林技師外六名

大禮衛生費豫算

縣費

總額 八、九九七圓

内譯

傳染病豫防費 八四五〇圓

獸疫豫防費 五四七圓

(5) 兵庫縣

御大禮ニ關シ京都府ト近府縣ノ關係ニアルノミナラス交通頻繁ナル海外貿易ノ中心タル神戸港ヲ控ヘタル本縣衛生事務ノ重要ナルニ鑑ミ内務省ヨリノ通牒警察部長會議及衛生課長會議ニ於ケル指示事項ニ基キ特ニ縣内各地方ノ實情ヲ參酌シタル上通牒通達ヲ發シ關係者ノ協議ヲ遂ケ次項以下各項ニ記載スルカ如ク昭和三年四月ヨリ十一月三十日ニ至ル間衛生各般ニ涉リテ之カ施設計畫ヲ實施セリ就中御大禮ニ關係深キ急性傳染病ノ豫防撲滅及精神病者ノ視察取締ニ付テハ最善ノ努力ヲ拂ヒ其他飲食物及同用器具ノ取締ハ元ヨリ結核トラホーム等慢性傳染病ノ豫防ニ努メ浮浪癩患者ノ掃蕩炭疽狂犬病等家畜傳染病ノ豫防ニ至ル迄萬全ナル取締ヲ勵行シ計劃實施上遺憾ナキヲ得タリ

御大禮衛生事務ニ從事シタル職員一覽表

職	員	種							別
		コレラ豫防	ペスト豫防	痘瘡豫防	腸チフス 其他豫防	獸疫豫防	野犬捕獲	精神病者 視察取締	
係主任技師	七	七	七	七	七	三	三	一	四

備考	良田岡		師技方地		防	
	一	二	他	保	技	防
一、從事職員數ハ實人員ヲ示ス 二、從事警察官吏ハ本廳衛生課並縣下各警察署勤務ノモノヲ掲ス	衛生技師 新井彌之作	地方技師 大沼 建彬	警 部 山本 正臣	同 黒川 義信	地方技師 小牧利三郎	衛生技師 中山 喜一
	警察官吏	衛生事務	防 務 員	防 務 員	防 務 員	防 務 員
	計	計	計	計	計	計
	三二六	二二五	七	五〇	二二	四一八
	二一九	一一八	七	五〇	二二	四一八
	二二一	一一〇	七	五〇	二二	四一八
	一、八六七	一、七六六	七	五〇	二二	四一八
	二九五	二五〇	五	五	七	二六
	二、三一七	二、二七二	五	五	七	二六
	二、一六五	二、一六三				一
	三、一〇六	三、〇九〇				一

一、痘瘡豫防ニ關スル件

痘瘡豫防ニ關シテハ昭和三年二月縣下各市町村長ニ對シ定期種痘ノ施行並ニ會社、工場等集團の場所ノ臨時種痘ヲ督勵シ居リタル處四月十五日縣下三原郡板列村ニ初發患者發生以來益々蔓延ノ虞アリシヲ以テ四月二十六日臨時施行ノ縣令ヲ公布爾來發生地域内居住者ニ對シ其ノ都度直ニ防疫職員ヲ派遣シテ市町村長ヲ督勵シ臨時種痘ヲ施行シタル爲メ病毒一市六郡七ヶ町村ニ傳播シタルモ五月二十九日ヲ終發トシテ患者十七名ニテ全ク終熄セリ而シテ本縣ニテ購入市町村ニ交付シタル痘苗十九萬三千二百五十人分臨時種痘施行人員十萬四千二百十三人ニ及ヘリ

(一) 御大禮關係痘瘡豫防事項

月 日	豫 防 事 項
三月二十四日	檢發第四六號ヲ以テ縣下各市町村長ニ對シ定期種痘徹底の施行其他痘瘡豫防警戒ニ關スル件通牒ス
同 日	衛通第四號ヲ以テ各警察署長ニ對シ定期種痘ノ施行ニ關シ市町村長ト協力シテ本病豫防ニ努ムヘク通達ス
四月二十一日	檢發第六二號ヲ以テ縣下三原郡板列村ニ痘瘡初發患者發生及之カ防疫及措置ノ概況内務大臣ヘ報告ス
四月二十三日	衛通第六號ヲ以テ縣下各警察署長ニ對シ全國ニ於ケル本病蔓延ノ狀況及縣下ニ初發患者發生續發ノ虞アルニ鑑ミ極力豫防警戒方通達ス
同 日	檢發第六五號ヲ以テ縣下各郡市醫師會長宛前記豫防ニ關スル件通牒ス
同 日	兵庫縣令第二十九號ヲ以テ種痘法第十五條ニ依リ臨時種痘施行ノ縣令公布ス
同 日	兵庫縣告示第二六七號ヲ以テ飾摩郡飾摩町高濱村手柄村居住者ニ對シ臨時種痘施行ノ旨指定ス
同 日	檢發第七三號ヲ以テ飾摩町高濱村手柄村長ニ對シ種痘施行ノ件通牒ス
同 日	衛通第七號ヲ以テ飾摩龍野警察署長ニ對シ前記ノ件通達ス
同 日	檢發第七二號ヲ以テ縣下各市町村長ニ對シ痘瘡豫防警戒ノ件通牒ス
同 日	檢發第七四號ヲ以テ痘瘡豫防ノ縣令公布ノ旨内務大臣ヘ報告ス
同 日	號外ヲ以テ廳内各課長宛廳内職員及家族ノ種痘實施ノ旨通報ス
同 日	檢發第七五號ヲ以テ各警察署長ニ對シ警察官及其家族ノ種痘實施ノ件通牒ス
同 日	檢發第七六號ヲ以テ縣下公私立中等學校長宛學校職員生徒關係者等ノ臨時種痘施行方通牒ス

四月二十七日
同 日
四月二十八日
同 日
同 日
四月二十九日
同 日
四月三十日
同 日
同 日
五月四日
同 日
同 日
五月十二日
同 日
同 日
同 日
五月十五日
同 日
同 日
五月十八日
同 日
同 日
同 日

衛發第一九九號ヲ以テ神戸税關長宛痘瘡豫防ノ爲輸入物品取締ニ關スル件照會ス

衛發第二〇〇號ヲ以テ神戸水上警察署長宛前記取締ノ件通牒ス

衛發第七八號ヲ以テ縣下五市長宛痘瘡豫防宣傳ポスター送附ノ件通牒ス

衛發第八號ヲ以テ縣下各警察署長宛前記ポスター送附ニ付一般豫防警戒方通達ス

衛發第七九號ヲ以テ内務省衛生局宛前記ポスター送附ス

兵庫縣告示第二百八十六號ヲ以テ臨時種痘施行ニ關シ川邊郡伊丹町ヲ指定ス

衛發第八〇號ヲ以テ川邊郡伊丹町長宛前記施行方通牒ス

衛發第九號ヲ以テ伊丹警察署長宛前記施行方通達ス

兵庫縣告示第二百九十三號ヲ以テ臨時種痘施行ニ關シ城崎郡日高町武庫郡魚崎町ヲ指定ス

衛發第八九號ヲ以テ城崎郡日高町長武庫郡魚崎町長宛臨時種痘施行方通牒ス

衛發第一〇〇號ヲ以テ御影日高兩警察署長ニ對シ前記施行方通達ス

衛發第九六號ヲ以テ伊丹外十四警察署長ニ對シ一般町村ニテ施行セル種痘成績調査方通牒ス(本件成績ハ蒐計ノ上昭和三年十一月十八日衛發第四七一號答申ニ添附報告ス)

衛發第九八號ヲ以テ飾磨郡龍野伊丹日高御影各警察署長ニ對シ臨時種痘成績調査ノ件通牒ス

兵庫縣告示第三百十七號ヲ以テ臨時種痘施行ニ關シ神戸市上澤通一丁目外二十二ヶ町ヲ指定ス

衛發第一〇〇號ヲ以テ神戸市長宛臨時種痘施行ノ件通牒ス

衛發第一二號ヲ以テ湊川警察署長ニ對シ前記施行方通達ス

衛發第一〇七號ヲ以テ神戸市長宛市民全般ニ對スル臨時種痘督勵方通牒ス

兵庫縣告示第三百二十五號ヲ以テ神戸市遠矢町一丁目外十四ヶ町ヲ指定ス

衛發第一〇六號ヲ以テ神戸市長宛臨時種痘施行ノ件通牒ス

同 日
五月十九日
五月十九日
同 日
五月二十二日
同 日
同 日
五月二十三日
五月二十三日
五月二十九日
同 日
同 日
同 日
同 日
同 日
同 日
同 日
十二月三日
同 日
同 日

衛通第一三號ヲ以テ兵庫警察署長ニ對シ前記施行方通達ス

兵庫縣告示第三百四十一號ヲ以テ臨時種痘施行ニ關シ神戸市小松通一丁目外三十三町ヲ指定ス

衛發第一一〇號ヲ以テ神戸市長ニ對シ臨時種痘施行ノ件通牒ス

衛通第一四號ヲ以テ兵庫警察署長ニ對シ前記施行方通達ス

兵庫縣告示第三百四十二號ヲ以テ臨時種痘施行ニ關シ神戸市中山手通五丁目外九ヶ町ヲ指定ス

衛發第一一號ヲ以テ神戸市長ニ對シ前記施行ノ件通牒ス

衛通第一五號ヲ以テ相生橋警察署長ニ對シ前記施行方通達ス

兵庫縣告示第三百四十四號ヲ以テ神戸市御崎本町一丁目外十四ヶ町ヲ指定ス

衛發第一一四號ヲ以テ神戸市長ニ對シ前記施行ノ件通牒ス

衛通第一六號ヲ以テ兵庫警察署長ニ對シ前記施行方通達ス

兵庫縣告示第三百五十七號ヲ以テ臨時種痘施行ニ關シ神戸市仲町五丁目外十二ヶ町ヲ指定ス

衛發第一二二號ヲ以テ神戸市長ニ對シ前記施行ノ件通牒ス

衛通第一七號ヲ以テ須磨湊川井田警察署長ニ對シ前記施行ノ件通達ス

兵庫縣告示第三百六十號ヲ以テ臨時種痘施行ニ關シ川邊郡小田村ヲ指定ス

衛發第一二七號ヲ以テ川邊郡小田村長ニ對シ前記施行ノ件通牒ス

衛通第一八號ヲ以テ尼崎警察署長ニ對シ前記施行ノ件通達ス

兵庫縣令第五十四號ヲ以テ癩ニ臨時種痘施行ノ爲公布セシ本縣令第二十九號ヲ廢止ス

衛發第五三〇號ヲ以テ臨時種痘施行ニ關スル縣令廢止ノ件内務大臣ヘ報告ス

衛發第五三一號ヲ以テ縣下各警察署長ニ對シ前記縣令廢止ノ件通報ス

(二) 痘疹患者發生月別表

郡市別	初發月日		發生患者數		合計
	最終月日	四月	五月	合計	
神戶市	五月二十四日		一〇	一〇	
武庫郡	五月四日		一	一	
川邊郡	五月二十八日		一	一	
佈磨郡	四月二十二日	一		一	
揖保郡	四月二十五日	一		一	
城崎郡	五月三日				
三原郡	四月十五日	四	一	五	
合計		四	一三	一七	

(三) 痘疹患者發生豫防措置ノ概況 (昭和三年四月二十一日、兵庫縣知事報告)

一、患者ノ住所、職業、年齢

兵庫縣三原郡榎列村

農業及騎手

某

當二十八年

二、發病前後ノ狀態及感染系統

患者ハ平素身體頑健ニテ農業ノ傍ラ常ニ乘馬ノ調教及騎手トシテ各地競馬場調教場等ニ出場セリ而シテ四月一日ヨリ三日間 (三日ハ雨天ニテ四日開催)開催シタル高知縣高知市三橋競馬會ニ出場ノ爲メ三月二十八日ヨリ四月四日迄同市楠瀬旅館ニ投宿

同日優勝馬所有者ナル同縣香美郡佐古牛馬商横田國次方ニ二泊ノ上六日朝同地出發德島縣撫養ヲ經テ午後八時頃歸宅シタルモノニシテ翌七、八兩日ハ身體倦怠ヲ覺ヘシモ強ヒテ自村ニ宮調教場ニ至リ十數頭ノ調教ヲ爲シ八日午後六時頃ヨリ發熱臥床九日頃ヨリ下肢ニ發疹ヲ生シタルモ熱ノフキ出ト稱シテ醫療ヲ受ケサリシカ益々病勢増進シテ發熱四十度七分ニ昇リタルニ付十日ヨリ附近醫師ノ診療ヲ受ケ居ル内十五日午後二至リ主治醫ヨリ痘疹ノ届出アリ傳染病舎ニ收容シタル次第ニテ高知縣滞在中日下同縣下ニ流行セシ病毒ニ感染シタルモノト認メラル因ニ患者ハ左右上膊ニ二顆宛ノ癩痕ヲ存シ第一期第二期種痘共經過シ居レリ

三、豫防措置

(1) 臨時種痘ノ實施

御大典ニ對スル本病豫防ノ爲客月縣下各市町村長及警察署長ニ對シ定期種痘ノ施行ニ當リ要種痘者ノ調査通報整理ヲ正確ニシ種痘洩ナキ様又前年來ノ洩者ニ對シテ種痘ヲ行フ様通達シテ督勵中終ニ患者ノ發生ヲ見而モ發病ヨリ診定隔離迄八日間ヲ經過シ居リテ其間病毒散蔓セル虞有之ニ付即時防疹職員ヲ派遣シテ發生地住民四千五百名及隣接四ヶ町村民ニ對シ種痘ヲ實施スルト共ニ一般町村學校會社工場等ニ對シテモ臨時種痘ヲ督勵施行シツ、アリ

(2) 檢診並ニ檢病的戶口調査ノ施行

患者發生地及關係住民ニ對シテハ所轄警察署長ヲシテ檢病的戶口調査ノ續行及四月六日午後六時二十分阿淡連絡會社汽船阿淡丸ニテ德島縣撫養町ヨリ患者ト同船本縣三原郡福良町ニ上陸シタル船客五十三名ニ對スル豫防並ニ忠家ニ出入接觸シタル者二十五名ハ特ニ醫師ヲシテ檢診ヲ行ハシムル等早期患者ノ發見ヲ期シ居レリ

(3) 流行地發船舶ニ對スル豫防警戒大阪高知線及大阪四國線中高知縣發神戶入港ノ汽船ニ對シテハ特ニ其都度防疫職員ヲシテ船客ノ檢病調査ヲ行ハシメテ警戒ヲ嚴重ニスル外本縣管内沿岸各港 (日本海沿岸ヲ除ク) ニ上陸スル船客ニ對シテモ各警察署長ヲシテ健康狀態ヲ視察セシメ病毒ノ侵入防遏ニ努メツ、アリ

(四) 臨時種痘指定町村及施行成績

指定期間	指定町村	現住人員	種痘人員
四月二十七日ヨリ 五月二十日ニ至ル	飾磨郡飾磨町	一二、六〇二	一〇、一五一
同	同 高濱村	三、三一〇	三、二四〇
同	同 手柄村	二、八四九	三、二六〇
同	同 揖保郡龍野町	六、四五〇	七、三七〇
四月三十日ヨリ 五月十日ニ至ル	川邊郡伊丹町	一二、五八五	一二、〇〇〇
五月十五日ヨリ 五月二十二日ニ至ル	城崎郡日高町	七、二九九	六、六九三
同	武庫郡魚崎町	六、九九九	六、九一一
五月十六日ヨリ 五月二十二日ニ至ル	神戸市上澤通一丁目ヨリ四丁目	二、三七八	二、三三一
五月十六日ヨリ 五月二十二日ニ至ル	同 松本通一丁目ヨリ四丁目	二、〇六一	二、〇二二
同	同 下澤通二丁目ヨリ四丁目	二、三六〇	二、二六五
同	同 中道通二丁目ヨリ四丁目	一、九八六	一、九三一
同	同 大井通一丁目ヨリ三丁目	三六二	三六二
同	同 東山町一丁目ヨリ三丁目	一、七四八	一、六三〇
同	同 會下山町一丁目ヨリ二丁目	五四五	五三六
五月十九日ヨリ 五月二十二日ニ至ル	同 遠矢町一丁目ヨリ二丁目	六九九	六九二
同	同 和田宮通五丁目ヨリ八丁目	七四三	七四三
同	同 笠松通七丁目ヨリ十丁目	七九二	七八八
同	同 小松通四丁目ヨリ六丁目	四五〇	四四八
同	同 濱山通四丁目ヨリ六丁目	六九六	六九〇

五月二十日ヨリ 五月二十六日ニ至ル	同 小松通一丁目ヨリ三丁目	一、六四八	八〇七
同	同 濱山通二丁目ヨリ三丁目	四六〇	二八六
同	同 笠松通一丁目ヨリ六丁目	三、一〇九	一、八二九
同	同 和田宮通一丁目ヨリ四丁目	二、〇九六	一、八九一
同	同 中庄通一丁目ヨリ三丁目	六一二	三八四
同	同 上庄通一丁目ヨリ五丁目	一、四三三	一、一一〇
同	同 三石通一丁目ヨリ四丁目	一、四〇八	一、三三五
同	同 和田崎町	八六一	五五一
同	同 吉田町一丁目	一、九〇〇	一、〇一六
同	同 南逆瀬川町二丁目	二七六	一九八
同	同 今出在家町一丁目ヨリ三丁目	一、四二五	一、四一三
五月二十三日ヨリ 五月二十九日ニ至ル	同 中山手通五丁目ヨリ八丁目	六、二二二	三、四一一
同	同 山本通五丁目	一、〇二五	二三五
同	同 下山手通五丁目ヨリ六丁目	二、〇五三	二、一四八
同	同 再度筋	一、八四九	八五五
同	同 楠谷町	一、四八三	三三二
同	同 花隈町	二、三四八	一四四
五月二十四日ヨリ 五月二十六日ニ至ル	同 御崎本町一丁目ヨリ三丁目	四、三六八	三、九九八
同	同 御崎町一丁目ヨリ二丁目	二、六六六	二、一八〇
五月三十一日ヨリ 五月三十一日ニ至ル	同 仲町五丁目六丁目	一、二一一	一、二〇二

同	多聞通七丁目八丁目	一七八三	一七七六
同	六番町七丁目ヨリ八丁目	三三三	一〇五
同	五番町七丁目ヨリ八丁目	八二八	二一七
同	四番町八丁目	二一九	五六
同	西須磨川端町	二〇五	七三
同	同 下濱田	二八四	三七
同	同 新田	三二二	九七
同	同 東町	五一八	一八七
六月一日ヨリ 六月十日ニ至ル	川邊郡小田村	三一、四一〇	一三、二八七
合 計		一四〇、二八九	一〇四、二一三

二、「ベスト」豫防ニ關スル件

「ベスト」豫防ニ就テハ常ニ神戸、尼崎、西ノ宮ノ各市洲本、由良兩町ノ鼠族ノ買収及之レカ細菌學的検査ヲ實施シ居リテ其數毎年四十五萬頭内外ニ達シ居リ益々之レヲ督勵スルト共ニ昭和三年ハ特ニ外國船舶ノ繫留スル神戸港沿岸ヲ中心ニ警戒區域ヲ定メ區域内ニ於テ鼠族ノ食料タリ得ル物品ヲ收藏スル倉庫二千六十六棟二十五萬二千餘坪及住家一萬六千餘戸並神戸港内第二類船二千二百二十一隻ニ對スル徹底的除鼠及防鼠設備ヲ改善スヘク警察官防疫監吏市吏員人夫ヲ以テ編成セル捕鼠班殺鼠劑配布及探鼠班設備ノ改善班三十一班ヲ七月一日ヨリ十一月二十五日迄配置實行シタリ而シテ其ノ成績ハ除鼠總數十六萬七千四百一十一頭内細菌學的検査ヲ行ヒシモノ十三萬八千五百四頭(有菌鼠ヲ認メス)改善シタル倉庫七百七棟六萬三千五百四十九坪改善費一萬三千八百七十七圓六十五錢ナリ

(一)御大禮關係「ベスト」防疫施設實施事項

月 日	實 施 事 項
四月十日	午前十時頃警察部長室ニ内務省衛生局加藤防疫官井上兵庫縣警察部長岡田兵庫縣衛生課長藤村神戸稅關港務部檢疫課長伊庭野神戸市衛生課長小林三宮向井相生橋畑水上各警察署長中山本縣衛生技師芦田防疫主任ハ御大禮防疫施設ニ關シ「ベスト」豫防「コレラ」豫防痘瘡豫防協議事項ヲ(別紙)協議決定シタリ
四月十一日	衛發第一七七號ヲ以テ三宮相生橋水上各警察署長神戸市衛生課長港務部檢疫課長加藤内務省衛生局防疫官宛前日決定セシ協議事項(別紙)ヲ送付ス
六月四日	檢發第一三九號ヲ以テ「ベスト」豫防施設遂行ニ要スル防疫職員増員ノ件内務大臣へ稟請ス
六月二十一日	衛通第二一號ヲ以テ三宮相生橋兵庫水上各警察署長ニ對シ「ベスト」豫防施設實行ニ關スル件通達ス
同日	衛發第二〇九號ヲ以テ神戸市長ニ對シ同上施行ノ件通牒ス
六月二十六日	伊庭野神戸市衛生課長三宮相生橋兵庫水上各警察署長及衛生主任ヲ警察部長室ニ招集シテ井上本縣警察部長岡田本縣衛生課長影本警務課長中山衛生技師芦田防疫主任ハ別紙除鼠作業ノ期間方法班ノ編成ニ關スル件ヲ協議決定ス
七月一日	彙ニ計劃協議シタル事項ニ基キ殺鼠劑配布及除鼠班捕鼠班防鼠設備ノ督勵班ヲ夫々配置シ鼠族ノ掃蕩ニ着手ス

(二) 防疫ニ關スル協議

昭和三年四月十一日

衛發第一七七號